



# Answer Key

解答・解説

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## Reading Check

1. B 2. C 3. A 4. D 5. B 6. C 7. C 8. A

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. T 5. F 6. F

## Match

🌕 = full moon 🐰 = rabbit 🥟 = dumpling 🌿 = grass 🌰 = chestnut 🏮 = lantern ★ = star 🥮 = mooncake

## Unscramble

1. RABBIT 2. HARVEST 3. AUTUMN 4. LANTERN 5. PRINCESS 6. CUSTOM

## Fill in the blanks

(1) dumplings (2) table (3) window (4) grass (5) moon (6) rabbit (7) cakes (8) outside (9) quiet (10) year

## Sentence order

1. We look at the moon in autumn.
2. A rabbit makes rice cakes on the moon.
3. We put dumplings by the window.
4. The full moon came two days later.
5. This custom came from China long ago.

## Secret Code

LOOK AT THE MOON (月を見てごらん)

## Maze — Secret word

RABBIT

## 解説 (Reading Check)

1. B 本文全体で、月見が中国から伝わり859年の記録があり、今も秋に行われる習わしだと説明しています。満月の日は毎年変わります。
2. C 第2段落に The oldest record of a moon party in Japan is from 859. とあります。
3. A 第2段落に wrote poems and played music under the moon とあります。灯籠はベトナムの子ども、月餅は中国の話です。
4. D 第4段落に tsukimi was on September 25, but the full moon came two days later とあります。
5. B Some people also offer taro は「月に里芋を供える」という意味です。
6. C 第5段落に In Vietnam, children walk through the streets with bright lanterns. とあります。月見は中国から伝わり、新暦では9月か10月初め、満月とはかぎりません。
7. C 第3段落に because it is harvest time とあり、とれたての作物を供えていることがわかります。
8. A ルーカスは In Brazil, some people see Saint George on the moon. と言っています。うさぎは日本の見方です。



## 和訳（問題文）

- T/F 1. 月見は中国から伝わりました。
- T/F 2. 十五夜の月はいつも満月です。（→ずれることが多い）
- T/F 3. 家族は窓辺に団子とすすきを置きます。
- T/F 4. 日本では、月でうさぎが餅をついていると言います。
- T/F 5. 月見は日本の国民の祝日です。（→祝日ではない）
- T/F 6. 2026年の月見は8月15日でした。（→9月25日。8月15日は旧暦の日付）
- Unscramble 1. RABBIT＝うさぎ
- Unscramble 2. HARVEST＝収穫
- Unscramble 3. AUTUMN＝秋
- Unscramble 4. LANTERN＝灯籠
- Unscramble 5. PRINCESS＝お姫さま
- Unscramble 6. CUSTOM＝習わし
- Order 1. 私たちは秋に月を眺めます。
- Order 2. 月でうさぎが餅をついています。
- Order 3. 私たちは窓辺に団子を置きます。
- Order 4. 満月は2日後に来ました。
- Order 5. この習わしはずっと昔に中国から来ました。
- ... has made tsukimi dumplings＝月見団子を作ったことがある
- ... can see a rabbit on the moon＝月にうさぎが見える
- ... has eaten a mooncake＝月餅を食べたことがある
- ... knows the story of Princess Kaguya＝かぐや姫の話を知っている
- ... has eaten tsukimi udon＝月見うどんを食べたことがある
- ... knows the English word for 満月＝「満月」の英語を知っている
- ... likes looking at the night sky＝夜空を見るのが好き
- ... has seen the moon through a telescope＝望遠鏡で月を見たことがある
- When I look at the moon, I see \_\_\_\_\_.＝月を見ると、私には\_\_\_\_\_が見えます。
- If I could go to the moon, I would \_\_\_\_\_.＝もし月に行けたら、私は\_\_\_\_\_します。
- On Jugoya, I want to offer \_\_\_\_\_ to the moon because \_\_\_\_\_.＝十五夜に、私は月に\_\_\_\_\_を供えたいです。なぜなら\_\_\_\_\_だからです。

## 全訳（Reading）

- 1 晴れた秋の夜に、月を見上げてみてください。うさぎが見えますか。日本では、月にうさぎが住んでいて、餅をついていると言います。毎年秋、家族は月にお供えをして、その光を楽しみます。この習わしは「月見」と呼ばれます。
- 2 月見はずっと昔に中国から伝わりました。日本で最も古い月の宴の記録は859年のものです。宮廷の貴族たちは、月の下で詩を作り、音楽を奏でました。舟に乗って、水に映る月を眺める人もいました。同じころの古い物語では、かぐや姫がまさにこの夜に月へ帰っていきます。
- 3 今、月見は昔の月の暦で8月15日の夜に行われます。たいてい9月か10月の初めです。家族は丸い団子と、すすきという背の高い草を窓辺に置きます。収穫の時期なので、里芋を供える人もいます。
- 4 ここでおもしろい事実を一つ。この夜の月は、いつも満月とはかぎりません。2026年、月見は9月25日でしたが、満月は2日後に来ました。これは、月が満ちるまでに14日より長くかかることが多く、その日数も毎月変わるために起こります。だから十五夜と満月は、1～2日ずれることがよくあるのです。
- 5 アジアの多くの国が同じ月を楽しみます。中国の家族は月餅を食べ、韓国の人々はチュソクのために故郷へ帰ります。ベトナムでは、子どもたちが明るい灯籠を持って通りを歩きます。だから次に秋の月を見たら、うさぎにあいさつしてくださいね！





# Answer Key (Advanced)

解答 (発展セット)

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## 発展セット C1 : Comprehension

1. B 第1段落で文化ごとに違う月の物語、第2段落でそれが宇宙機の名前に生きていること、第3段落で科学が進んでも人は月に物語を託したいと述べており、2が主旨です。1は第3段落の結びと逆、3は many cultures と合わず、4は none of them found a rabbit と逆です。
2. D 第1段落 a rabbit that pounds that medicine の that medicine は、嫦娥が飲んだ a medicine of eternal life を指します。1は本文にありません。2の餅は日本のうさぎです。3は第3段落の月の表面の話です。
3. A 第2段落 the rover it landed on the moon in 2013 was called Yutu, or Jade Rabbit が根拠です。2は日本の月探査機、3は本文に出てこない行事の名前、4は月探査計画の名前です。
4. C perhaps は「たぶん・おそらく」で、言葉の音が似ているからという理由が一つの説にすぎないことを示しています。1はその逆、2の比較、4は本文にありません。
5. D 続く文で、昔の物語の名前が月探査計画や探査車・探査機の名前に使われた例が挙げられているので、「新しい形でよみがえった」という意味です。1・2は本文の流れと逆で、3は文字どおりの解釈で文脈に合いません。
6. B 月が生命のない岩とほこりの世界だという科学の事実を、うさぎは見つからなかったというユーモアで示し、But 以下の「それでも人は月に物語を託したい」という結論につなげています。1・3は本文にない主張で、4は第2段落の話です。

## 発展セット C2 : Vocabulary

- 1-h (eternal=永遠の) 2-a (float=浮かぶ、たどよう) 3-b (pound=(何度も強く)つく、たたく) 4-c (exploration=探査、探検) 5-d (launch=打ち上げる) 6-e (nickname=愛称をつける、ニックネームで呼ぶ) 7-f (surface=表面) 8-g (suggest=(それとなく)示す、うかがわせる)

## Paraphrase (例)

1. Many cultures enjoy the autumn full moon, but each of them tells its own story about it.
2. Now that people explore space, these old stories are being used again in a new way.
3. Even so, the names of our spacecraft show that we still want the moon to keep our stories alive.

## Summary (例)

Many cultures tell stories about the autumn moon. In China, Chang'e and a rabbit making medicine live there, while in Japan the rabbit makes rice cakes. These stories now name spacecraft such as Chang'e, Yutu, and Kaguya. Science shows the moon is lifeless, but people still want it to carry stories.

## Advanced Reading 全訳

- 1 秋の満月ほど多くの文化に共有されているものは少ないですが、それぞれの文化はそこに違う物語を与えてきました。中国では、月是不老不死の薬を飲んで空へのぼった女性・嫦娥と、その薬をつくうさぎのすみかです。日本では、同じうさぎが餅をついているとされます。満月と餅つきを表す言葉の音がほとんど同じだからかもしれません。
- 2 こうした古い物語は、宇宙時代に新しい命を得ています。中国は月探査計画を嫦娥にちなんで名づけ、2013年に月に降ろした探査車は玉兔、つまり翡翠のうさぎと呼ばれました。2007年に打ち上げられた日本の月周回機は、十五夜に月へ帰る日本最古の物語の姫にちなみ、「かぐや」という愛称がつけられました。
- 3 科学は、月が岩とちりてできた生命のない世界であることを明らかにしました。12人の宇宙飛行士が月面を歩きましたが、だれもうさぎを見つけませんでした。それでも私たちが宇宙機につける名前は、今も月に物語を託したいと願っていることを示しています。